

南九州における白いぼキュウリの生産安定に関する研究

第1報 白いぼキュウリのは種期生態について

田 畑 耕 作・石 田 栄 一（鹿児島県農業試験場）

TABATA, K. and E. ISHIDA: Study on the Productive Stability of Cucumber Grown
1. On the Seeding Date Ecology of Cucumber Grown

消費者の嗜好と市場の需要動向から、白いぼキュウリが1974年に導入され、その後急速に広がったが、栽培の面では、冬期の生育不良と不良果の多発が、大きな問題となった。白いぼキュウリは黒いぼキュウリに比べて、低温、短日、少日照条件に対する適応性が弱いと認められたので、は種期による生態特性を明らかにし、栽培管理技術確立の基礎資料を得ようとした。その結果の概要を報告する。

1. 試験方法

供試品種は王金促成、台木はフィソフォリヤ。は種期は1976年9月15日、10月1日、10月15日、11月1日、11月15日、12月1日、1月1日、2月1日、3月1日の9回、定植苗は苗令3.0~3.5枚、栽植本数は10㎡当たり18.5本、主枝の摘心は20~24節とした。温度管理は昼間28℃、夜間の最低設定温度は12~13℃で管理した。

2. 試験結果及び考察

1) は種期と日照時間：各は種期のは種後3ヵ月間の月平均日照時間は、9月~10月まきと1月~3月まきは、約150~180時間であったが、11月~12月まきは約140時間であった。平年の日照時間も同様な推移を示し、12月~2月の日照時間が、120~130時間内に短くなることから、本県の特徴である。

2) 茎葉の発育について：主枝長、子づる長、葉の大きさは、9月から10月まきではよく伸長したが、その後次第に生育は緩慢となり、11月15日まきが最も劣った。その後は、は種期が遅れるほどよく伸長した。側枝の発生、発育も同様な傾向で、9月~10月まき、1月~3月

まきでは発生数が多く、長側枝主体となり、よく繁茂したが、11月~12月まきでは発生数が少なく、短側枝主体となった。中間のは種期は、中側枝と短側枝が主体となった。

3) 主枝の雌花着生数：11月~1月の低温、短日期には種した場合、雌花着生数が多く、9月~10月又は2月~3月の高温、長日期のは種期では少ない。12月1日まきは、9月まき又は3月まきの3倍近い雌花数となった。

4) 収量と上果歩合：収穫期間中の1ヵ月当たりの収穫本数は、9月~10月まき又は1月~3月まきの収量がやや多く、11月15日まきとその前後のは種期は少なかった。は種期が早いと収穫中期（1月~2月）に少日照条件となり、後半に株が弱って、収量が低下し、不良果が多く、上果歩合が劣った。

以上の結果から、白いぼキュウリのは種期による生態特性は、温度、日長、日照時間等の環境条件によって、生態を大きく異にした。9月~10月まきは高温、長日条件で、生育、収量、果の形質はすぐれるが、それが低温、短日、少日照となる1月~2月になると、果実の負担と重なって、側枝の発生、発育が抑制され、生育不良、不良果の多発になりやすい。11月~12月まきは育苗から初期生育期が不良条件となるので、側枝の発生、発育不良となりやすい。1月から3月まきは温度、日長、日照条件に恵まれる環境条件に向うので、生育、収量、果の形質はよい。このようには種期によって、生態が大きく異なることから、作型別栽培管理技術の確立が重要となる。

第1表 は種期と日照、生育、収量、上果歩合

項目 は種日	日照 時間	育苗 日数	主枝長	子づる 長	15節 葉長	側 枝 (子+孫+曾孫)		主枝雌 花着生 数	収穫始	収穫終	1ヵ月 当たり 収穫本 数	上果率
						総発 生数	中長 側枝					
9.15	176	33	56.9	19.6	25.1	44.9	28.8	6.3	11.20	3.31	18.4	34
10.1	168	27	60.7	21.0	25.8	48.9	31.4	6.0	12.6	4.6	18.2	33
10.15	153	32	34.6	8.4	22.4	27.9	12.1	9.1	12.29	4.27	16.1	47
11.1	139	35	14.2	7.6	20.8	28.2	13.4	12.9	1.26	5.6	17.1	54
11.15	138	39	13.2	4.2	21.7	24.3	9.5	15.4	2.9	5.23	13.9	53
12.1	140	40	13.3	3.7	21.6	30.9	11.1	17.8	2.16	6.7	16.1	49
1.1	158	33	20.8	11.1	23.8	43.5	24.9	13.4	3.11	6.14	19.7	46
2.1	181	31	35.9	18.7	24.1	39.0	26.4	8.1	4.6	6.14	21.2	50
3.1	170	30	53.5	22.9	23.8	33.8	27.1	5.6	4.25	6.14	18.6	58

注)・日照時間：は種後3ヵ月間の月平均、・苗令3.0~3.5葉期、・主枝長：は種後40日目、・子づる長：2節までの株当たり平均長、・側枝数：株当たり平均、・中長側枝：5cm以上伸長した側枝数、・収穫本数：収穫期間中の月平均